



令和4年4月  
浜松市立赤佐幼稚園

4月11日(火)に、令和5年度がスタートしました。13名の新しい友達が晴れて赤佐幼稚園に入園。お家の人と入園式に参加する姿や、教師の出し物をニコニコしながら見てくれた姿がとても微笑ましかったです。これからの3年間、どんな成長が見られるか、とても楽しみです。

### 進級児は・・・

同じく11日に、真新しい帽子をかぶって登園した新4歳児、新5歳児の子供たち。昨年度、新しい帽子を渡された時には満面の笑みで、進級できることを喜んでいましたが…、この日は久しぶりの登園からか、緊張していた子が多かったようです。

新しいお部屋、新しい玩具、新しい先生…何もかもドキドキしながら過ごしていたように思います。始業式の時には、大きく深呼吸している子を見かけました。その姿を通して「みんな頑張っていたんだなあ」と、改めて思いました。



子供は自ら環境に関わって遊び、そこから多くのことを学んでいきます。そのためには、一日も早く園の環境や人に慣れ、安心して過ごしてもらえるようになることが大切です。

今年度、赤佐幼稚園の職員は13名。令和4年度末の人事異動により職員が大きく入れ替わりましたが、新しい職員で温かな雰囲気づくり心掛け、子供たちが早く園生活に慣れていけるように、また、園目標や目指す子供像に導いていけるように精一杯頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 教育目標

その子らしく、いきいきと遊ぶ赤佐っ子  
目指す子供像

- ・自分の力で行う子(自立)
- ・自分で考えて行動する子(自律)
- ・共に育ち合う子(尊重)



## 【コラム】 うさぎのふわちゃん

赤佐幼稚園には、うさぎの「ふわちゃん」がいます。

ふわちゃんは今年で在籍4年目。人間で言うと30～40歳ぐらいのようです。ごはんはよく食べるし、うんちもいっぱい出してとても元気です。お昼ごはんを食べた後、まったりとお昼寝していることもよくあります。これまで、多くの子供たちの心を解きほぐし、笑顔を引き出してくれました。また、私たち職員にとっても癒しの存在です。



4月に保育が始まると、ふわちゃんのところには年少組の子供たちよく訪れます。動物が好きなのはもちろんいるとは思いますが、初めての園生活でどんな環境があるかまだよく分からない中ですし、人やものよりも興味・関心を寄せやすいのかもしれませんが。うさぎの可愛さにも惹かれて来るかと思っています。



ふわちゃんに餌を与えようと試み、反応よく食べてくれれば大喜び。たと思えるように食べてくれなくても、「今はお腹いっぱいなのかな?」「なかなか食べてくれないなあ」などと思いを馳せることも。それはそれで楽しそうです。生き物との関わりは、命あるものをいたわる気持ちが育まれるだけでなく、思うようにはいかない相手との接し方について、自分なりに考える良い機会にもなります。



## ふわちゃんをきっかけに・・・

ふわちゃんとの関わりをきっかけにして、友達とつながっていくこともよくあります。同じ場に居合わせていると、発見したことや気付いたこと、驚いたことを共有しやすい状況が生まれるからです。さらに、楽しいことがあって笑い合ったり、感じたことや思ったことを伝え合ったりすることで、関わりがさらに深まっていきます。右写真の2人は、ふわちゃんとの関わりがきっかけでとても仲良くなり、2人で他の人やものにも関わっていく姿が見られましたよ。



今回はふわちゃんを例に挙げましたが、ダンゴムシやアリ、カブトムシの幼虫やテントウムシ、カマキリなどの生き物でも同じです。生き物は、見た目の印象や動き方など、驚きや発見の要素がたくさんあり、人の心を動かしてくれるからいいですね。今後も、どんな出会いや関わりがあるか楽しみです。

